

令和 7 年 6 月定例市議会 市長行政報告

皆さん、おはようございます。

6 月定例市議会の開会にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、御多忙の折にもかかわらず御参集をいただき、厚くお礼を申し上げます。

議案等の説明に先立ちまして、行政報告をさせていただきます。

まずは 3 月 23 日に発生した林野火災について、御報告いたします。

本市では、林野火災発生に伴い、3 月 23 日から災害対策会議を開催し、24 日 0 時 50 分に災害対策本部を設置いたしました。

また、火災の状況を踏まえ、25 日 19 時 30 分に番田地区、19 時 50 分に北方地区に「避難指示」を発令するとともに、避難所 1 か所を開設いたしました。

避難所では、一時、3 世帯 6 人の受け入れを行いました。28 日岡山市発表の火災鎮圧を受けて、災害対策本部を廃止するとともに、避難所も閉鎖しております。

被害の状況としては、玉野市では約 14 ヘクタールの林野焼失、岡山市を含めると合計約 486 ヘクタール焼失となっており、岡山県内で記録が残る 1965 年以降、最大の林野火災となりました。

消防や自衛隊の懸命な消火活動によって、4 月 11 日には鎮火となり、岡山市も含め、けが人は確認されていないとの報告を受けております。

物資の提供など支援をいただいた団体、企業の皆様に心から感謝申し上げます。

また、夜を徹して消火・延焼防止活動にあたられた消防団の皆様には、長時間にわたる消火活動等の御労苦や玉野市管内への被害を最小限に抑えた功績に対し、5 月 19 日に玉野市長特別表彰を授与させていただき、さらに、6 月 10 日には、消防庁長官表彰を受賞しております。

現在、今回の林野火災について検証を重ねており、今後の災害対応に

活かして参りたいと考えております。

なお、5月2日までに現地の調査が終わり、今後は事業主体の岡山県と協力して、復旧事業が進められる予定であります。

また、玉野市消防団におかれましては、3月19日に総務大臣から令和6年度消防団地域貢献表彰を受賞されました。

玉野市は、全国的にも大規模な林野火災が多い地域であり、全国山火事対策シンポジウムの開催をはじめ、昭和60年から長きにわたり林野火災を想定した中継送水訓練を毎年2回継続している功績などが高く評価され、今回の受賞に至ったものです。

この中継送水訓練は、この度の林野火災における消火活動にも大いに役立ったと伺っております。

この場を借りて玉野市消防団の皆様に感謝と敬意を表しますとともに、本市といたしましても、市政運営の基本方針に掲げた「自ら備え、支え合い、助け合う、安全安心のまち」を目指し、引き続き防災対策や地域防災力の強化に取り組んでまいります。

次に、今年度における市の組織機構の改革についてであります。

この件については、3月の条例の改正の中で御説明申し上げておりますので、4月以降に新たな人材が加わった組織について御紹介いたします。

まず、部局横断的な重要施策等の推進にあたり、総合的な推進・調整役としての位置付けを明確化するため、「政策部」を「総合政策部」に、「総合政策課」を「政策企画課」に名称変更するとともに、部局横断的な取り組みとなる公共施設の再編整備を進めるため、総合政策部に「公共施設課」を新設し、総合政策部長として、総務省から齊藤晃大（さいとうあきひろ）さんが着任されました。

次に、デジタル関連の取り組みをより強化するため、総務部総務課内の「デジタル推進係」を「デジタル推進室」に変更するとともに、国の

地域活性化起業人制度を活用し、民間企業からデジタル専門人材の派遣を受けております。

派遣期間は本年５月から２年間の予定で、庁舎移転に伴う窓口 DX 推進業務等に取り組んでいただきます。

続きまして、子育て支援についてであります。

昨年１０月からたまの子育てアプリ「母子モ」において、オンライン予約サービスを開始したところですが、４月から乳幼児健診や予防接種の間診票の入力ができるようバージョンアップいたしました。

「母子モ」は子どもの成長の記録や予防接種スケジュールの確認ができるアプリで、「ハローベビースクール」など、各種教室や子育てイベントのオンライン予約にも対応しております。

そのほか、葉酸サプリの配布や、ひとり親世帯を対象に養育費の取り決めに係る公正証書の作成費用等の補助、「こども誰でも通園制度」の開始、子育て支援ガイドブック「たまの子育てガイド」のリニューアルも行っております。

なお、７月の第一日曜日には、昨年に引き続き、「こどもまんなかデー」として、子どもたちが健やかに成長できる社会の実現のため、様々な取り組みを行う予定です。

今後も「希望をもって安心して子育てできるまち」の実現を目指し、子育て支援策の充実を図って参りたいと考えております。

次に、瀬戸内国際芸術祭２０２５についてです。

４月１８日に香川県のあなぶきアリーナ香川で全体の開会式が行われ、翌１９日に宇野港シーサイドパークで宇野港エリアのオープニング記念イベントが開催されました。

当日は天候にも恵まれ、暖かい日差しの中、「響け！日本の心 from UNO」と題し、５次元キーボード・パフォーマー薮井佑介（やぶいゆうすけ）氏の世界最先端電子楽器を用いた、常山城の歴史をテーマにした

曲と、地踊り「正調カッカラカ」とのコラボレーションによる壮大なオーケストラサウンドが繰り広げられました。

会場では、音楽に合わせ、地元地踊り団体がフラッシュモブでサプライズを演出し、多くの来場客が輪になってつながりあい、会場を盛り上げました。

また、本市においては、芸術祭初の取り組みといたしまして、宇野港周辺と田井地区、みやま公園の作品エリアを新たに「芸術際シャトルバス」でつなぎ、回遊性を高めております。春会期におきましては、延べ、1,700人以上の御利用をいただき、それぞれのエリアに設置された金氏徹平（かねうじてっぺい）氏の作品を通じ、ゆったりと、本市独自の魅力を味わい、感じていただいているものと思っております。

瀬戸内国際芸術祭を契機に、インバウンドを含め、多くの観光客の方々に玉野へ足を運んでいただいております。本市といたしましても、観光の魅力を高め、イメージ向上を図るシティプロモーションに取り組むとともに、来訪者へのおもてなしに努めてまいります。

最後に、新庁舎整備についてであります。

工事の進捗状況ですが、建物の安全性を確保するための基礎工事を進めており、4月中旬に杭工事が完了し、現在は基礎の躯体工事を行っています。6月下旬からは、免震装置の据付工事を行う予定で、据付が完了したエリアから順次、1階床の躯体工事を行い、8月からは建物上部の本体工事に取り掛かる予定としております。

令和8年6月の竣工に向け、市民にとって便利で親しまれる新庁舎となるよう引き続き整備に取り組んでまいります。

以上、行政報告をさせていただきましたが、本日から開会されます6月定例市議会においては、予算議案1件、条例議案3件、その他議案6件の合わせて10件を提案しております。

この後、報告事項及び各議案についての御説明をさせていただきます

が、議員各位におかれましては、本会議及び常任委員会において御審議を賜りますようお願いを申し上げます。